恵泉教会木曜祈祷会

リジョイス5月21日　通読：列王記上9章

1. 列王記上9章の背景と文脈

ソロモンが20年の歳月をかけて主の神殿と自分の王宮を建て終えたとき、神はかつてギブオンで現れたように、二度目の顕現（現れ）をされます。

二度目の顕現と厳しい警告（1〜9節）： 神はソロモンの祈りを聞き入れ、神殿に御名を置くことを約束されます。しかし同時に、非常に厳しい「条件」を突きつけました。もしソロモンやその子孫が神から離れ、他の神々に仕えるなら、神はこの神殿を「見捨てる」と警告されたのです。

カブル（無に等しい）の町（10〜14節）： ソロモンは建築資材を提供したティルスの王ヒラムへの負債を返済するため、ガリラヤ地方の20の町を譲り渡しました。しかしヒラムはそれを見て不満を抱き、その地を「カブル（無に等しい）の地」と呼びました。神から与えられた約束の地（領土）の一部を切り売りするという、霊的な妥協が始まっています。

強制労働と軍事拡張（15〜28節）： ソロモンはエルサレムの城壁や、ハツォル、メギド、ゲゼルといった要塞都市を築き、強大な軍事力と経済力（紅海の船隊など）を持ちました。しかしそのために、カナン人の生き残りを「強制労働」に就かせました。イスラエル人は奴隷にはされませんでしたが、国家の繁栄の背後には、重い負担と抑圧という歪みが生まれていました。

2. 列王記上9章の中心主題

この章には、「祝福に隠された条件（み言葉への従順)」と「成功の裏に潜む妥協」というテーマが含まれています。

目に見える建物（実績）より、心の従順： ソロモンは立派な神殿を建てましたが、神が本当に求めておられたのは「建物」ではなく、父ダビデのように「心を全くし、正しく歩む」（4節）という「内なる従順」でした。信仰の形（立派な礼拝堂や過去の霊的実績）があっても、今、神の言葉に従っていなければ、それらは無意味なものになってしまうという厳粛な事実です。

繁栄を維持するための「妥協」： ソロモンは国の繁栄とプロジェクトを維持するために、約束の地を異邦人の王に売り渡し（11節)、政略結婚の相手であるファラオの娘のために家を建て（24節)、人々に強制労働を課しました（15節)。華やかな成功の陰で、神の民としての原則が少しずつ崩れ始めています。

絶頂期にこそ必要な警告： 神は、ソロモンの人生で最もすべてが順調で、成功の絶頂にいるこのタイミングで、「もしわたしから離れ去るなら滅ぼす」という最も厳しい警告を与えられました。人間は成功している時ほど、神の恵みを自分の実力と勘違いしやすいためです。

3. 黙想と適用のための質問

1. 過去の「実績」や「形」に寄りかかっていませんか？

神様は、立派な神殿が建った直後に「もし掟を守らないなら、この神殿を捨て去る」と警告されました。神様が求めているのは、過去に何を建てたかではなく、今日、従順に歩んでいるかです。

（「昔は熱心に奉仕した」「毎週教会に通っている」という外側の形や過去の実績を安心の材料とし、日々の生活の中で神様の言葉に聞き従うことを疎かにしていませんか。）

2. 成功や安定を維持するために、「霊的な妥協」をしていませんか？

ソロモンは国の財政や平和を維持するために、神の領地を切り売りし、異教の国の王女を迎え入れるという妥協を積み重ねていきました。

（自分の生活の安定、仕事での成功、あるいは人間関係の調和を保つために、信仰的な良心を曲げたり、神様の領域（礼拝の時間、誠実さ）を少しずつ切り売りしたりしていませんか。）

3. 人生の「順調な時」に、神様の警告を聞く耳を持っていますか？

神様はソロモンが絶頂にいる時に、あえて厳しい警告の言葉を語られました。

（すべてが自分の思い通りに進み、健康で、満たされている「順調な時」にこそ、高慢にならないよう神様の戒めの言葉に真剣に耳を傾けていますか。成功の中で、自分の心を点検する時間を持ちましょう。）

4. 祈り

聖なる、そして真実であられる天のお父様、

列王記上9章を通して、どれほど素晴らしい神殿や実績であっても、私たちの心があなたから離れてしまうなら、それらは意味を失ってしまうことを教えられました。

主よ、私たちは生活が順調で、目に見える成功を手にした時ほど、自分の力に頼り、あなたへの従順を忘れてしまう弱い者です。生活の安定や豊かさを維持するために、小さな妥協を積み重ねてしまうことがあります。どうか私の心を探り、高慢や妥協の種が芽生える前に、御言葉によって気づかせてください。

過去の霊的な体験や、目に見える信仰の「形」に安心するのではなく、今日という日に、心を全くし、正しくあなたの御前を歩むことができますように。

私が人生のどのような季節（絶頂期であっても、谷間であっても）にあっても、常にあなたを第一とし、あなたの警告と恵みの言葉に謙虚に耳を傾ける者とならせてください。

私たちの唯一の土台であり、主であるイエス・キリストの御名によってお祈りいたします。

アーメン。